

平成30年度当初予算
部局別要求方針

介護老人保健施設事務局

部局別予算要求方針

1 30年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

- ・利用者数は83.5人(稼働率99.4%)、通所は9人(稼働率90%)を見込む
- ・在宅強化型老健として長期入所者の在宅復帰を促進し、リハビリ加算の対象者を増加させ増収を見込む

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ①介護報酬改定への対応
- ②施設、設備の更新

(事業の必要性)

- ・在宅生活において、身体機能または認知機能の低下がみられる方や、病院を退院後、在宅復帰が困難である方に対し、当施設を利用することにより、身体機能及び認知機能の向上を図り、在宅復帰を支援する。また、在宅復帰後においてはデイケアやショートステイで生活支援を行う。

3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

公営企業として健全経営に配慮しながら、地域の介護サービスの充実に努める。また、将来的な介護施設サービスの需要予測をもとに、在宅強化型老健として運営を行うため、関係部局の協力をお願いする。